

札幌大通地下ギャラリー  
500m美術館 VOL.48  
Sapporo Odori 500-m Underground Walkway Gallery

# 韓国／大田広域市

## 国際交流展

Ha Jhonnam  
Hong Jihee  
Kim Woojin  
Lim Seung-kyun

SAPPORO  
SOUTH KOREA  
DAEJEON

# Sister City Brother Project: Daejeon and South Korea

2024年10月26日(土)～2025年1月8日(水) 7:30-22:00

会場:札幌大通地下ギャラリー500m美術館 住所:札幌市中央区大通西1丁目～大通東2丁目(地下鉄東西線大通駅とバスセンター前駅の間の地下コンコース内)  
主催:札幌市 企画制作:CAI現代芸術研究所/CAI03(有限会社クスト)、一般社団法人PROJECTA 協力:さっぽろ天神山アートスタジオ、稲葉真以、大橋鉄郎、金珠嬭、朴炫貞 <https://www.500m.jp/>

SAPPORO

さっぽろ市  
02-D05-24-404  
R6-2-316

札幌大通地下ギャラリー500m美術館では、国際交流を目的として、2016年にポートランド(アメリカ)、2019年にミュンヘン(ドイツ)との姉妹都市交流展「Sister City Brother Project」を行ってきました。

2024年は第3弾として、韓国／大田広域市との交流展を開催します。

本展では、札幌市と姉妹都市である大田広域市にゆかりのある作家と、韓国を中心として国際的に活躍する作家、計4名の作品を札幌市中心部に位置する地下コンコースで展覧し、今後の両国・両市の文化的交流を推進します。

また、道行く市民が気軽に海外のアートシーンに触れる機会をつくるとともに、差異と同一性、芸術文化の違いや表現方法の多様性など、さまざまな気付きに出会え3か月間となります。初日にはアーティストトークを開催し、アーティストと市民の交流の場を設けます。

## トークイベント 「韓国・大田のアートシーン」

韓国のアートシーンや日常生活を身近に感じていただくため、本展の参加アーティストによる作品解説とトークセッションを行います。

予約不要 先着順 参加無料

会期:2024年10月26日(土) 19:00~20:30

会場:CAI03(札幌市中央区南14条西6丁目6-3)

通訳:朴 炫貞

(アーティスト／北海道大学CoSTEP特任講師)

ご来場いただいた方を対象にWEBアンケートを実施しております。今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

●回答方法／スマートフォンやパソコンを使って下記URL又は二次元コードからアクセスしご回答ください。



札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 札幌市所管の文化施設について (指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」

[https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2024\\_questionnaire500m.html](https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2024_questionnaire500m.html)

韓国／大田広域市 国際交流展  
2024年10月26日(土) ~ 2025年1月8日(水)

# Sister City Brother Project: Daejeon and South Korea

## Ha Jhonnam | ハ・ジョンナム

1974年、長野県で生まれた在日コリアン3世。2017年、韓国に移住。

翌年、偶然訪れたアンドン韓紙(ハンジ)工房をきっかけに、初めて曾祖父が住んでいた本籍地を訪ねる。日本にいる両親に電話したところ、その日は偶然にも曾祖父の命日だと知らされ、運命を感じて韓紙を使った作品制作を始める。現在は、日本の故郷である信濃大町の「松崎和紙」と「韓紙」を自ら張り合わせた、唯一無二の「紙」を使用し作品とパフォーマンスを展開。主題として、日本と朝鮮半島(韓半島)、さらに在日コリアンが置かれている「境界」に存在する多様なアイデンティティを探索し、文化的・歴史的な差異から生じる間隙を視覚化することに取り組んでいる。2024年には日本で開催された「ずれはからずもぶれ」(東京都美術館)や、信濃の国原始感覚美術祭(信濃大町)にも出展。

## Hong Jihee | ホン・ジフイ

1985年、韓国釜山生まれ。

大田広域市の芸術大学を経て、ソウルの大学にて彫刻の大学院コースを修了。済州アートウェアハウス招聘アーティストとしての活動を通じて、2014年からはソウルと済州に拠点を構え、双方を行き来しながら制作に取り組む。幼少期から幾度も転居を繰り返してきた経験から、「家」に対して独自の概念を抱くようになった。家をテーマにした立体作品では、家に車輪を取り付けたり、歪めて表現したりしていたが、自然に関心を持つようになってからは、植物に車輪を取り付け始めた。根があるべき場所に車輪を付け、植物に移動性を与えた。これは、故郷を失い、さまよい続ける体と心を反映したものである。これまでに5回の個展を開き、現在は自然環境の中での野外インスタレーションに力を入れる。母校である牧園大学校でも教鞭をとる。

## Kim Woojin | キム・ウジン

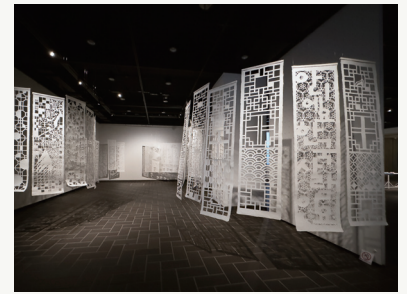
1976年、ソウル生まれ。京畿道とソウルを拠点として活動している。

ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジにて美術学の修士号を、梨花女子大学校にて西洋画の博士号を取得。社会の特別な側面の課題をその観察者として探る立場を離れ、目に見えない枠組みを通じて個人にそっと働きかけるようなディスポジティブ(仕掛け)の創出に取り組んでいる。ソウル、龍仁、仁川、高陽、香港、台北、東京などで個展やグループ展に出展しており、日本でも個展「ブレイブ・ニュー・エクササイズ 記憶された運動」(トーキョーアーツアンドスペース本郷／東京／2017)を開催。京畿文化財団やソウル芸術文化財団の助成プログラムに選出されているほか、国際的なレジデンスプログラムにも多数参加している。

## Lim Seung-kyun | イム・スンギョン

1984年、韓国忠清南道舒川生まれ。韓国ソウルと大田在住。

Limは独自のアプローチで日常生活を精査する。それは実践的・経験的な試みでありながらも、一貫してあまり馴染みのない独創的実験であり、芸術的な想像を通してオルタナティブな世界観を提供する。既成概念にとらわれずに独自の実験を重ね、日常生活の中で出会う見慣れた素材や現象、状況から「出来事」を創り出す可能性を奥深く探る。2015年WARSTEINER(ドイツ)のBLOOMAWARDにノミネート。2016年YATOOインターナショナル・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム、2018年UNISTサイエンス&アート・レジデンシー、2022-2023年アーティスト・プロジェクトに参加。



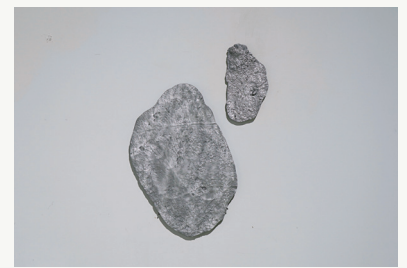
「模様 23-24」  
2024/サイズ可変/松崎和紙、ウァンジュ韓紙、アンドン韓紙



「Mother Nature - glasses」  
2021/150×80×150mm/貝殻、ブイ



「The Perfect Harmony」2019/5分14秒  
4チャンネルFHDビデオインスタレーション ステレオサウンド



「Flat Series」2024/サイズ可変  
アルミ鋳造